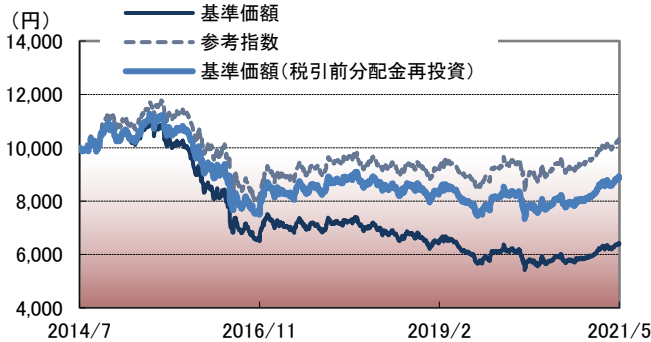


2021年5月31日 現在

毎月決算型

基準価額の推移



- ・基準価額(税引前分配金再投資)は、税引前分配金を分配時に再投資したものと計算しています。基準価額は信託報酬控除後です。信託報酬については、後記の「ファンドの費用」をご覧ください。
- ・上記は過去の実績であり、将来を示唆または保証するものではありません。
- ・参考指数はICE BofA 1-10 Year UK Gilt Indexです。
- ・参考指数は設定日の前日を起算日として指数化しております。
- ・参考指数につきましては、後記の「ご参考」をご覧ください。(以下同じ)

ファンドの概況

基準価額(円)	6,412
純資産総額(億円)	8.99
設定日	2014/7/31
償還日	2022/10/25
決算日	原則、毎月25日 (休業日の場合は翌営業日)

資産構成比 (実質組入比率)

内訳		比率
債券	国債	99.32%
	物価連動国債	0.00%
現金等		0.68%

・現金等には未払い諸費用等を含みます。

騰落率

期間	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ファンド	2.33%	4.51%	11.24%	15.41%	5.56%	-10.97%

- ・騰落率は、税引前分配金を分配時に再投資したものと計算しています。ファンドの騰落率であり、実際の投資家利回りとは異なります。
- ・上記は過去の実績であり、将来を示唆または保証するものではありません。

「ご参考」為替レートの騰落率

期間	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
英ポンド/円	2.40%	4.80%	12.31%	17.41%	7.64%	-10.57%

・為替レートの騰落率は、対顧客直物電信売買相場の仲値におけるものです。

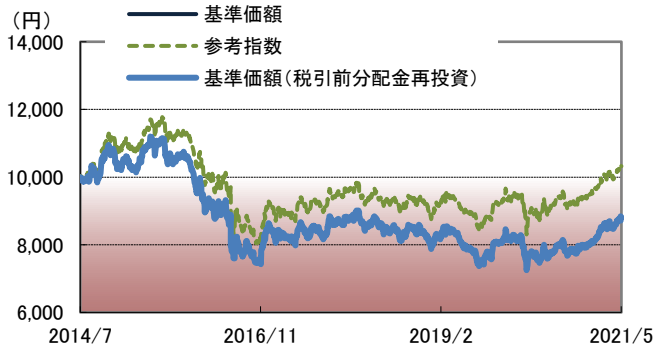
分配金実績(1万口当たり、税引前)

設定来累計		2,510円	
決算日	分配金	決算日	分配金
2020年12月25日	10円	2021年3月25日	10円
2021年1月25日	10円	2021年4月26日	10円
2021年2月25日	10円	2021年5月25日	10円

- ・直近6期分の分配金実績です。
- ・分配金は過去の実績であり、将来を示唆または保証するものではありません。
- ・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、または分配金が支払われない場合があります。

年2回決算型

基準価額の推移



- ・基準価額(税引前分配金再投資)は、税引前分配金を分配時に再投資したものと計算しています。基準価額は信託報酬控除後です。信託報酬については、後記の「ファンドの費用」をご覧ください。
- ・上記は過去の実績であり、将来を示唆または保証するものではありません。
- ・参考指数はICE BofA 1-10 Year UK Gilt Indexです。
- ・参考指数は設定日の前日を起算日として指数化しております。

ファンドの概況

基準価額(円)	8,798
純資産総額(億円)	1.14
設定日	2014/7/31
償還日	2022/10/25
決算日	原則、4月、10月の各25日 (休業日の場合は翌営業日)

資産構成比 (実質組入比率)

内訳		比率
債券	国債	99.24%
	物価連動国債	0.00%
現金等		0.76%

・現金等には未払い諸費用等を含みます。

騰落率

期間	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ファンド	2.33%	4.49%	11.21%	15.38%	5.40%	-11.94%

- ・騰落率は、税引前分配金を分配時に再投資したものと計算しています。ファンドの騰落率であり、実際の投資家利回りとは異なります。
- ・上記は過去の実績であり、将来を示唆または保証するものではありません。

「ご参考」為替レートの騰落率

期間	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
英ポンド/円	2.40%	4.80%	12.31%	17.41%	7.64%	-10.57%

・為替レートの騰落率は、対顧客直物電信売買相場の仲値におけるものです。

分配金実績(1万口当たり、税引前)

設定来累計		10円	
決算日	分配金	決算日	分配金
2018年10月25日	0円	2020年4月27日	0円
2019年4月25日	0円	2020年10月26日	0円
2019年10月25日	0円	2021年4月26日	0円

- ・直近6期分の分配金実績です。
- ・分配金は過去の実績であり、将来を示唆または保証するものではありません。
- ・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、または分配金が支払われない場合があります。

2021年5月31日 現在

「アムンディ・英国債マザーファンド」の組入状況

組入上位5銘柄 (純資産総額比)

	銘柄名	通貨	クーポン	償還日	比率
1	UKT 1.75 09/07/22	英ポンド	1.750%	2022/9/7	17.71%
2	UKT 0.75 07/22/23	英ポンド	0.750%	2023/7/22	17.63%
3	UKT 4 03/07/22	英ポンド	4.000%	2022/3/7	17.20%
4	UKT 2.25 09/07/23	英ポンド	2.250%	2023/9/7	17.06%
5	UKT 0.5 07/22/22	英ポンド	0.500%	2022/7/22	15.51%
上位 5 銘柄合計:					85.11%

ポートフォリオの特性値 (債券評価額比)

平均最終利回り (%)	0.11
平均直接利回り (%)	2.21
平均格付	AA
修正デュレーション (年)	1.49
銘柄数	7

・平均格付とは、基準日時点でファンドが保有している有価証券の信用格付を加重平均したものであり、ファンドの信用格付ではありません。

コメント

(アムンディ・アセットマネジメント)

《市況コメント》

5月の英国債券市場では、長期金利は低下(債券価格は上昇)しました。5月前半は、新型コロナウイルスのワクチン接種の進展から英国経済回復への期待が高まっていることを背景に、BOE(英国中央銀行)による金融緩和縮小の観測が広がり英国の長期金利は上昇(債券価格は下落)しました。月の後半にかけては、ラガルドECB(欧州中央銀行)総裁のハト派的発言による欧州金利の低下に追随し、英国の長期金利も低下しました。

《運用コメント》

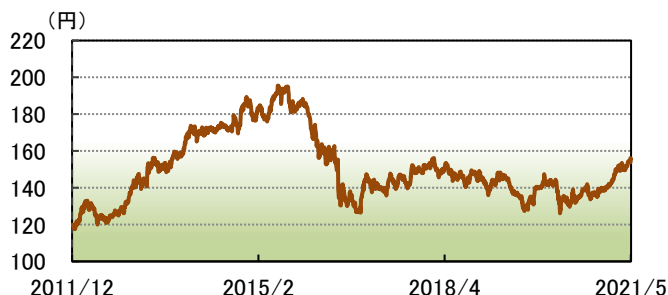
当月のマザーファンドのパフォーマンスはプラスとなりました。債券と為替がプラス寄与しました。当月はポートフォリオを維持しました。

《今後の見通しおよび運用方針》

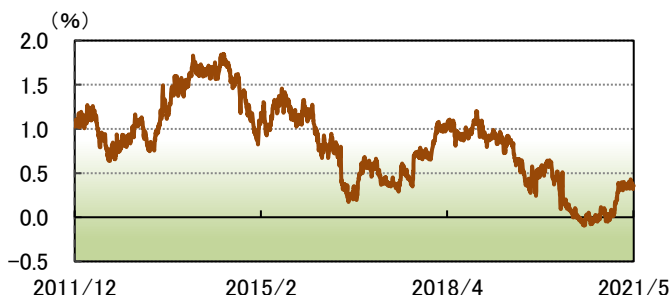
今後も新型コロナウイルスのワクチン接種にともない、急速に景気回復に向かう中、BOEが予想よりも早く金融緩和を縮小することが想定されることから、現在の短いデュレーションを維持します。景気回復にともない、英国のインフレ率には上昇圧力がかかるものの、大幅なインフレ率の上昇が継続するとは考えにくいことから物価連動国債の非保有を維持します。

《ご参考》

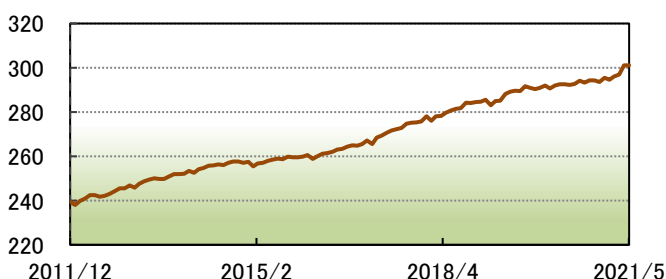
為替レートの推移(英ポンド/円)



英国国債利回りの推移



英国小売物価指数(RPI)の推移(月次)



・英国国債利回りの推移は、ICE BofA 1-10 Year UK Gilt Indexを基に作成しております。ここで述べられているインデックス・データは、ICE Data Indices, LLC、その関係会社(「ICE Data」)及び/又はその第三者サプライヤーの財産であり、アムンディ・ジャパン株式会社による使用のためにライセンスされています。ICE Data及びその第三者サプライヤーは、その使用に関して一切の責任を負いません。免責条項の全文については、<https://www.amundi.co.jp/fund/280074.html>または、<https://www.amundi.co.jp/fund/280075.html>をご参照ください。
・為替レートは、対顧客直物電信売買相場の仲値におけるものです。
・各データは、ブルームバーグのデータを基にアムンディ・ジャパン株式会社が作成。

ファンドの目的

ファンドは、安定した収益の確保と投資信託財産の成長をめざして運用を行います。

「アムンディ・英国債ファンド(毎月決算型)」、「アムンディ・英国債ファンド(年2回決算型)」を、それぞれ「毎月決算型」、「年2回決算型」と略す場合があります。また2本のファンドを総称して「アムンディ・英国債ファンド」または「ファンド」、あるいは個別に「各ファンド」という場合があります。

ファンドの特色

- ① アムンディ・英国債マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます)の受益証券への投資を通じて、主として英ポンド建の英国国債等(国債、地方債、政府保証債、政府機関債)、英国物価連動国債、国際機関債に投資します。
 - 英ポンド建債券に直接投資することがあります。
 - マザーファンドに係る運用指図の権限は、アムンディ・アセットマネジメントに委託します。
- ② 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
- ③ 毎月決算型と年2回決算型があります。
 - 毎月決算型は、毎決算時(原則として毎月25日。休業日の場合は翌営業日)に、年2回決算型は、毎決算時(原則として毎年4月および10月の各25日。休業日の場合は翌営業日)に、原則として収益配分方針に基づき収益配分を行います。

◆資金動向および市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

投資リスク

ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主として債券など値動きのある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクがあります)に実質的に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、**投資元本が保証されているものではありません**。ファンドの基準価額の下落により、**損失を被り投資元本を割込むことがあります**。ファンドの運用による損益はすべて投資者に帰属します。なお、投資信託は預貯金とは異なります。

基準価額の主な変動要因としては、価格変動リスク、為替変動リスク、信用リスク、カントリーリスク等が挙げられます。なお、基準価額の変動要因(投資リスク)はこれらに限定されるものではありません。また、その他の留意点として、各ファンドの繰上償還、ファミリーファンド方式の留意点等があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

＜お申込みの際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。＞

《当資料のお取扱いについてのご注意》

■当資料は、法定目論見書の補足資料としてアムンディ・ジャパン株式会社が作成した販売用資料であり、法令等に基づく開示資料ではありません。■当ファンドの購入のお申込みにあたっては、販売会社より投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめまたは同時にお渡しいたしますので、お受取りの上、内容は投資信託説明書(交付目論見書)で必ずご確認ください。なお、投資に関する最終決定は、ご自身でご判断ください。■当資料は、弊社が信頼する情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性について弊社が保証するものではありません。また、記載されている内容は、予告なしに変更される場合があります。■当資料に記載されている事項につきましては、作成時点または過去の実績を示したものであり、将来の成果を保証するものではありません。また、運用成果は実際の投資家利回りとは異なります。■投資信託は、元本および分配金が保証されている商品ではありません。■投資信託は値動きのある証券等に投資します。組入れた証券等の値下がり、それらの発行者の信用状況の悪化等の影響による基準価額の下落により損失を被ることがあります。したがって、これら運用により投資信託に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様に帰属いたします。■投資信託は預金、保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関を通じてご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の保護の対象とはなりません。■投資信託のお申込みに関しては、クーリングオフの適用はありません。

収益分配金に関する留意事項

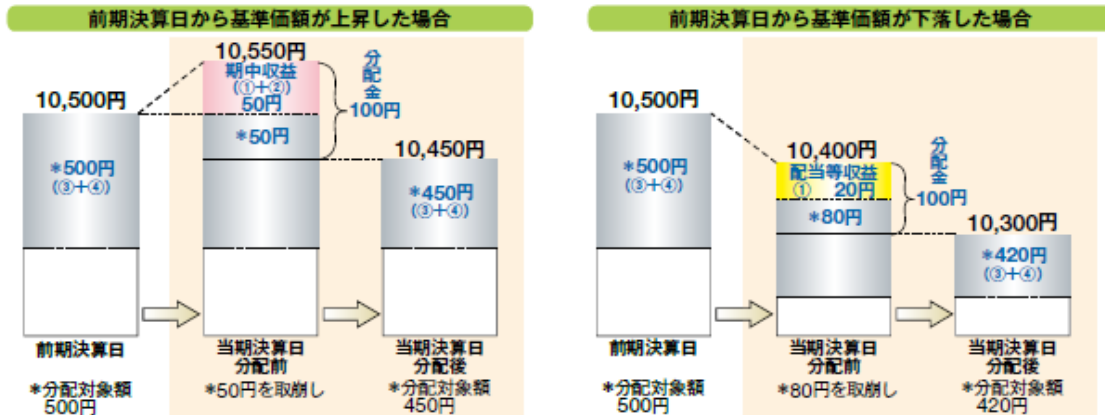
●分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託で分配金が支払われるイメージ



●分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

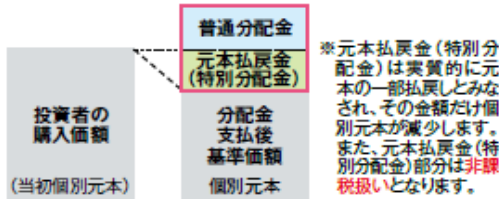


(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

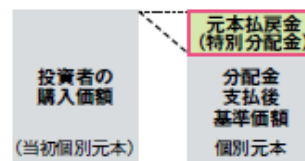
※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

●投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金：個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金(特別分配金)：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問合せください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
購入代金	販売会社が定める期日までにお支払いください。
換金単位	販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問合せください。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
換金代金	換金申込受付日から起算して、原則として5営業日目から販売会社においてお支払いします。
購入・換金申込受付不可日	ロンドン証券取引所の休業日、ロンドンの銀行休業日、フランスの祝休日のいずれかに該当する場合は受け付けません。
申込締切時間	詳しくは販売会社にお問合せください。
換金制限	委託会社の判断により、一定の金額を超える換金申込には制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止および取消し	委託会社は、金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金の申込受付を中止すること、および既に受け付けた購入・換金の申込受付を取消すことができます。
信託期間	2014年7月31日(設定日)から2022年10月25日までとします。
決算日	毎月決算型: 年12回決算、原則毎月25日です。休業日の場合は翌営業日とします。 年2回決算型: 年2回決算、原則毎年4月および10月の各25日です。休業日の場合は翌営業日とします。
収益分配	原則として毎決算時に収益分配方針に基づいて分配を行います。販売会社によっては分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。 配当控除および益金不算入制度は適用されません。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入申込受付日の翌営業日の基準価額に、販売会社が独自に定める料率を乗じて得た金額とします。有価証券届出書作成日現在の料率上限は 2.2% (税抜2.0%) です。詳しくは販売会社にお問合せください。
信託財産留保額	ありません。

投資者が投資信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	信託報酬の総額は、投資信託財産の純資産総額に対し 年率1.375% (税抜1.25%) を乗じて得た金額とし、ファンドの計算期間を通じて毎日、費用計上されます。 毎計算期間末または信託終了のとき、投資信託財産中から支弁します。 ◆上記の運用管理費用(信託報酬)は、有価証券届出書作成日現在のものです。
その他の費用・手数料	その他の費用・手数料として下記の費用等が投資者の負担となり、ファンドから支払われます。 ・有価証券売買時の売買委託手数料および組入資産の保管費用などの諸費用 ・信託事務の処理等に要する諸費用(監査費用、目論見書・運用報告書等の印刷費用、有価証券届出書関連費用等を含みます。) ・投資信託財産に関する租税 等 ※その他の費用・手数料の合計額は、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことはできません。

◆ファンドの費用の合計額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することはできません。

委託会社、その他の関係法人の概要

委託会社	アムンディ・ジャパン株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第350号 加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会
受託会社	株式会社 リソナ銀行
販売会社	販売会社については巻末をご参照ください。
ファンドに関する照会先	アムンディ・ジャパン株式会社 お客様サポートライン: 0120-202-900(2021年6月30日まで) 03-3593-5911※(2021年7月1日から)※通話料は有料です 受付は委託会社の営業日の午前9時から午後5時まで ホームページアドレス: https://www.amundi.co.jp/

販売会社一覧(業態別・五十音順)

金融商品取引業者等		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人投資信託協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社 関西みらい銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第7号	○			○	
株式会社 埼玉りそな銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第593号	○			○	
株式会社 北陸銀行(ネット専用) ^(※1)	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第3号	○			○	
株式会社 北海道銀行	登録金融機関	北海道財務局長(登金)第1号	○			○	
株式会社 りそな銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第3号	○		○	○	
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○			○	○

(※1) 毎月決算型のお取扱いとなります。